

# 日本医学会だより

JAMS News

2012年10月 No.48  
日本医学会

## ◆第143回日本医学会シンポジウム

「がんの一次予防と二時予防」をテーマに、12月20日(木)13:00~17:00、日本医師会館大講堂において開催する。組織委員は、津金昌一郎、祖父江友孝、浜島信之、斎藤博の各氏。参加申込みは郵便はがき、FAX、本会HP(<http://jams.med.or.jp/>)にて受付中。参加費無料。プログラムは日本医学会HPに掲載中。

## ◆医学賞・医学研究奨励賞の決定

選考委員会を8月29日(水)に開催し、平成24年度の日本医師会医学賞・医学研究奨励賞の授賞が決定した。

本選考は、日本医師会から日本医学会に委任されており、今年度の推薦数：医学賞13、奨励賞40を審査した。

選考の結果、11月1日(木)の日本医師会設立記念医学大会において、今年度の医学賞は4名、奨励賞は15名に授与される。

選考の結果は下記のとおり。

〈日本医師会医学賞〉

- ・幹細胞システムにおける細胞分化機構の解明/仲野 徹(阪大・病理学)
- ・魚食により摂取される環境汚染物質の健康影響とリスク評価に関する研究/佐藤 洋(内閣府食品安全委員会)
- ・日本人の虚血性心疾患に関する基礎的・臨床的研究/下川宏明(東北大・循環器内科学)
- ・ABO血液型不適合腎移植への挑戦—免疫学的禁忌の克服と臨床応用の普及/高橋公太(新

潟大・腎泌尿器病態学)

〈日本医師会医学研究奨励賞〉

- ・新規細胞接着分子システムが動脈硬化を制御する分子機構/扇田久和(滋賀医大・分子病態生化学)
- ・腸管上皮培養技術を応用した全腸管組織体外構築の試み/中村哲也(医歯大・消化管先端治療学)
- ・ミトコンドリアダイナミクスによるエネルギー代謝調節機構の解明からナノ治療へ/野村政壽(九大・内分泌代謝・糖尿病内科学)
- ・膵臓癌の早期診断法の開発に関する研究/谷内田真一(国立がん研究センター研究所)
- ・脳磁計による神経義手制御とALS患者への適応/柳澤琢史(阪大・脳神経外科学)
- ・社会格差と健康～行動経済学的アプローチによるメカニズム解明/橋本英樹(東大・公衆衛生学)
- ・東日本大震災被災地における保健医療従事者に対するこころのケア及び自殺対策の教育システムの構築を目的とした地域介入研究/大塚耕太郎(岩医大・神経精神科学)
- ・トランスレーショナルリサーチ実践による新しい急性心筋梗塞治療法の開発/南野哲男(阪大・循環器内科学)
- ・肝細胞癌の発症リスクに寄与するバイオマーカーの同定と有用性の検証/大石和佳(放射線影響研究所)
- ・日本人糖尿病患者の特徴と病態に関する臨床疫学的検討/曾根博仁(新潟大・血液・内分泌

泌・代謝内科学)

- ・思春期注意欠如多動性障害へのペアレントトレーニングは愛着の神経基盤を変化させるか/石井礼花(東大・精神神経科学)
- ・急性中耳炎の難治化の病態解明と粘膜ワクチンによる感染予防に関する研究/保富宗城(和医大・耳鼻咽喉科学)
- ・発癌性ウイルス特異的免疫誘導を介した子宮頸癌に対する予防的・治療的薬剤の開発/川名 敬(東大・産婦人科学)
- ・過活動膀胱における KIT-SCF シグナル伝達系からみた病態解明と臨床応用/窪田泰江(名市大・腎・泌尿器科学)
- ・免疫・アレルギー疾患の発症における皮膚の役割の解明/椛島健治(京大・皮膚科学)

### ◆日本医学会あり方委員会

第11回委員会を平成24年5月29日(火)、第12回委員会を7月4日(水)、第13回委員会を9月13日(木)にそれぞれ開催した。「日本医学会が目指すもの」、「法人化について」等が主な議題であった。

金澤一郎委員長の下、池田康夫委員、岡井 崇委員、實成文彦委員、富野康日己委員、中村耕三委員の6名で構成されている。

### ◆日本医学会法人化組織委員会

日本医学会の法人化準備に向けて、平成23年度に新設された委員会で、本年度より組織委員会に名称を変更した。委員は池田康夫、岡山博人、松木則夫、野田哲生、福永龍繁、小林廉毅、富野康日己、麦島秀雄、里見 進、堀内行雄、岩下光利、山田芳嗣の12名で構成されている。本年度第1回委員会は8月15日(水)に開催された。

### ◆日本医学雑誌編集者会議

「医学雑誌のオープンアクセス」をシンポジウムテーマとした第5回日本医学雑誌編集者会議(JAMJE)総会・第5回シンポジウムを

北村 聖日本医学雑誌編集者組織委員会委員長の総合司会の下、11月21日(水)13:00~16:00、日本医師会館小講堂にて開催する。参加希望者は本会HPにて受付中。参加費無料。

当日は総会に引き続き、「『医学雑誌編集のガイドライン(案)』の作成」、「オープンアクセスとパブリックアクセス」、「論文の電子化(PubMed Centralに準じたXMLファイルの作成)、掲載論文へのDOIの付与、ジャパンリンクセンターの開始」、「CrossCheckシステムの導入(事例報告1、事例報告2)」、「日本発の臨床論文の動向」の講演が行われる予定。

### ◆日本医学会分科会利益相反会議

「医学研究における産学連携の透明化とCOIマネジメント」をシンポジウムテーマとした第3回日本医学会分科会利益相反会議を曾根三郎日本医学会利益相反委員会委員長の総合司会の下、11月22日(木)13:00~16:20、日本医師会館小講堂にて開催する。参加希望者は本会HPにて受付中。参加費無料。

当日は総会に引き続き、「産学連携推進による医学研究とCOIマネジメントの意義」、「日本医学会分科会におけるCOIマネジメントの現状と問題点」、「臨床医学研究とCOIマネジメント」、「製薬企業における『企業活動と医療機関等との関係の透明性ガイドライン』の実施状況について」、「医学研究にかかる産学連携の透明性：社会からの視点の在り方」、「COIマネジメントにおける具体的な問題点と改善に向けた対応策について」の講演が行われる予定。

### ◆医学用語管理委員会

6月28日(木)に第3回委員会を開催した。今後の予定としては平成24年度日本医学会分科会用語委員会を12月4日(火)15:00~17:00に日本医師会小講堂で開催する。

### ◆JapanCDC(仮称)創設に関する委員会

10月12日(金)に委員会を開催予定。